

第2回やすらぎ堤デザイン検討委員会資料

平成27年3月16日(月)

# 第1回検討委員会の概要

# 第1回検討委員会の整理

## 1) デザイン検討委員会の検討の進め方（案）【再掲】

（検討の観点・視点）

（具体的な検討事項） → 整備方針（改訂版）の作成

- ①安全の確保
- ②利用の現状と近年の動向
- ③自然環境の保全
- ④既存設備の経年変化
- ⑤設備の意匠・素材・色調
- ⑥まちづくり計画との連携

### （1）未整備区間のデザイン検討

- 未整備区間3区間について、過去の懇談会等の成果も活用して、整備の基本コンセプトを検討。
- 基本コンセプトに基づき、堤防や高水敷等の形状と、主要な設備類（護岸、植生、転落防止設備、車両進入路、通路、親水・船舶利用施設、公園設備等）の概略配置を検討。

### （2）整備済み区間の改良デザイン検討

- 重点確認区間を設定し（2区間程度）、主要な設備類（護岸、植生、転落防止設備、車両進入路、通路、親水・船舶利用等設備、公園設備等）の配置等の改良の必要性及び改良する場合の概略改良案を検討。

### （3）設備等の整備に係る基本方針の検討

- 護岸、植生、転落防止柵の今後の適用・改善方針
- 区間内の河川管理施設、公園設備、許可工作物等の設備類を対象として色調、意匠、素材選定等に関する推奨ルールの作成
- 看板類の統一デザインルールの作成
- その他、当該区間の整備に係る留意事項を整理。

# 第1回検討委員会の整理

## 2) 検討対象【再掲】

### 本日の内容

青:(1) 未整備区間のデザイン検討

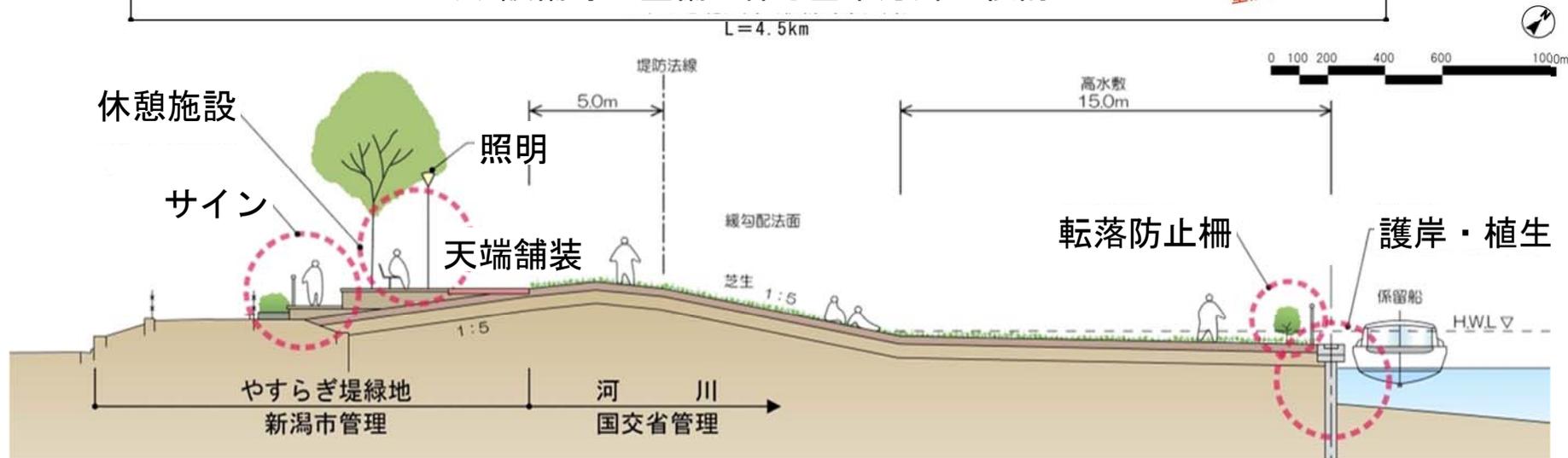
赤:(2) 整備済み区間の改良デザイン検討

黒:(3) 設備等の整備に係る基本方針の検討

- 護岸、植生、転落防止柵の今後の適用・改善方針
- 区間内の河川管理施設、公園設備、許可工作物等の設備類を対象として色調、意匠、素材選定等に関する推奨ルールの作成
- 看板類の統一デザインルールの作成 等



(3) 設備等の整備に係る基本方針の検討



# 第1回検討委員会の整理

## 1-1 第1回委員会議事要旨

項目	主な意見
<p>1. 検討の観点・視点に係る現状について（資料4）</p> <p>(1)安全の確保について</p> <p>(2)利用の現状と近年の動向について</p> <p>(3)自然環境の保全について</p> <p>(4)設備の意匠・素材・色調について</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 小さい子供が増えるので、危険がないような検討が必要</li><li>● 公園施設(植栽、トイレ)に係る防犯、バリアフリーの考え方のについて追加整理お願いしたい。</li><li>● 利用者の調査データはあるか。</li><li>● 水にアプローチしやすいこともデザインの方向性に必要。</li><li>● 民間が水辺を活用するミズベリングの会議はかなり重要。</li><li>● 上流部の自然湿地部は、希少な環境であり保全すべき。</li><li>● 希少なナゴヤサナエへの配慮が必要。</li><li>● 絵でわかるサイン、統一感のあるサインが必要である。</li><li>● ユニバーサルデザインが必要である。</li></ul>
<p>2. 検討事項に関する方向性について(資料5)</p> <p>(1)未整備区間のデザイン検討</p> <p>(2)整備済み区間の改良デザイン検討</p> <p>(3)設備等の整備に係る基本方針の検討</p> <p>(4)その他</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自転車と歩行者のすみわけなど、安全への配慮が必要。</li><li>● 萬代橋～八千代橋(両岸)は新潟にとって大きな資産である。</li><li>● 過剰な投資はできないが、材質の選定や仕上げの方法など、経年劣化ではなく、経年変化となることを目指してはどうか。</li><li>● 高齢者や女性の視点で、ベンチなど休憩施設や日よけは重要。</li><li>● シンボルツリーは植えられないか。</li><li>● 諸外国の都市の水辺事例を収集して、参考としてはどうか。</li></ul>